

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

筑紫丘

高等学校

43

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>豊かな心を持ち創造力に富んだ、世界に貢献できる人材を育成する学校</p> <p>理数科を中心とする理数教育の充実を通して、自然科学に対する高い素養を持つ人材を育成するとともに、ハイレベルで深い学びと多様な体験的活動を通して、自ら考え、判断し、行動する力を高め、新たな社会を創造できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>○自らの可能性を高め、挑戦する気概を持ち、社会の発展に貢献する高い志を育む ○主体的に持続可能な社会の形成に参画し、多様な人々とつながりを保ちながら、その発展に寄与する態度を育てる ○「探究的な学び」、「深い学び」を通して自然科学に対する高い素養と論理的思考力を育む</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>○生徒に自ら考え、判断し、行動させ、さまざまな体験から多くを学ぶ指導をすべての教育活動で実践する ○高い学力と、それを活用して課題を解決する力や新たなものを創造する力を育む教育活動を展開する ○生徒の知的好奇心に応える多様な学びの機会を提供する ○集団や社会のリーダーとして望ましい態度や行動の在り方を身につけさせる</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>○さまざまな体験を通して学ぶ意欲にあふれ、コミュニケーション能力に優れ、他者を尊重しながら自分の個性・能力を伸ばさせようと努力する、本校においてリーダーシップを発揮できる人 ○知的好奇心に富み、自己の可能性の開拓と学力の伸長に主体的に努力できる人 ○将来の自己実現のための学びと集団生活における体験的な学びのどちらにも積極的に取り組む人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>○豊かな心と創造力に富み、世界に貢献できる人材を育成する。 ○生徒が自ら考え、判断し、行動し、さまざまな体験から多くを学ぶ指導をすべての教育活動で実践する。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>昨年度は適切な教育課程を編成し、3年間を見通した体系的な教育活動を円滑に展開することができた。新教育課程に即した活動の検証をしっかりとすめ、3観点による評価方法の検討や、ICT機器のさらなる活用と合わせて引き続き授業改善を図る。 また、社会に貢献する「高い志」や「グローバルな視点」を持つ人材の育成については、主体的・対話的で深い学びを推進しつつ、必要な改善を加え対応していく。 各種コンテスト等、校外活動への積極的な参加を促すことで、学習意欲の喚起と挑戦する気概の醸成が進めることができた。今後も社会の一員としての自覚と責任の育成を図り、社会の発展に主体的に寄与する態度を育てたい。</p>	<p>【気概】 高い志の育成</p>	<p>○国内外の様々な取り組みに生徒が積極的に関わろうという雰囲気を醸成する ○持続可能な社会の形成に主体的に参画し、自己の夢の実現と共に社会に貢献しようという意欲を育てる</p>	
	<p>【規範意識】 生徒に対する凡事徹底の指導</p>	<p>○挨拶や掃除など徹底を推進して、生徒の規範意識やモラルの育成を進める ○学年集会や生徒同士の話し合いの場を通じて、生徒自らが筑高生としての在り方を考える機会を活用する</p>	
	<p>【知性】 ICTを活用した授業改善の推進による更なる授業力向上</p>	<p>○効果的なICTの活用により希望進路実現のための高い学力を育成する ○ICTを「何のために」「どのように」使うか、明確なビジョンを打ち出して生徒と共有する</p>	
	<p>【社会性】 社会性と自律心・共感力の涵養</p>	<p>○授業・学校行事・部活動等における他者との対話の充実・深化を通して心身の健やかな育成を図る ○多様な人権課題を察知できる人権感覚と、課題解決に向けた実践的な行動力を育てる</p>	
	<p>【克己心】 進路実現を目標にした、折れない心の育成</p>	<p>○様々な実体験を通して自己理解と将来像の形成を促す ○自分の生き方についてじっくり考える機会を作り、困難を克服して世界にはばたく力を身につけさせる</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
<p>学力の向上</p>	<p>○高い学力と、それを活用して課題を解決する力、新たなものを創造する力の育成</p>	<p>学力の向上・定着につながる考査の運用及び事前から事後までを含めた指導の徹底を図る。 大学入試制度改革等への対応を見通した教育課程や指導方法の研究を進める。</p>	<p>・授業アンケート ・次年度類型選択希望調査</p>	
	<p>○主体的な学習や他者との協働による思考力・判断力・表現力の育成</p>	<p>主体的・対話的で深い学びのある授業、ICT機器を活用した授業及び3観点での評価を実施する。 生活実態調査、出席統計など全職員で情報を共有し、きめ細やかな指導の徹底を図る。</p>	<p>・生活実態調査</p>	
	<p>○自らの可能性を高め、挑戦する気概をもち社会の発展に貢献する高い志の涵養</p>	<p>総合的な探究の時間の内容・評価の検証を行い、更に充実した探究活動を推進する。 シラバスや年間指導計画の作成・検証を行い、点検・修正・フィードバックを通して授業や目標設定の改善を図る。</p>	<p>・PC(進路研究、課題研究、社会人講演会)講座等希望調査</p>	
	<p>○理数教育の充実</p>	<p>高等学校DX加速化推進事業を活用し、学習環境や授業方法・内容の更なる充実を目指す。 理数科独自の研修やセミナー、講演会等の充実を図るとともに、校外活動への積極的参加を促進する。</p>		

生徒の健全育成	○集団や社会の一員としての自覚と責任の育成+C36:E43	さわやかな挨拶、マナーとしての所作、交通安全指導に力を入れる。また、生徒の主体的清掃活動を促す。 生徒の動向を観察しながら、些細な兆候を見逃さず、いじめの早期発見に努め安全・安心な教育環境を確立する。	・学校生活アンケート(記名・無記名) ・保護者アンケート	
	○協働の喜び、達成感・連帯感の醸成	「筑高三大行事」の運営を通してリーダーシップ、フォロワーシップを育成し、組織の在り方、他者との協働を学ばせる。 生徒会活動、部活動集会のより一層の充実と活性化を図り、達成感・連帯感を高める機会を増やす。	・学校生活アンケート(記名・無記名)	
	○生徒理解の深化	学校生活アンケート、面談ウイーク等を十分に活用し、生徒の心のサポートを行い、問題の早期発見に努める。 「合理的配慮」が必要な生徒について保護者と連携し指導体制を整え、教員間の迅速な情報共有に努める。	・学校生活アンケート(記名・無記名) ・保護者アンケート	
	○健康安全教育の充実	健康診断、身体測定、体力測定のスムーズな運営と精度を向上させる。 心肺蘇生法、AED、アレルギー(エピペン含)研修を実施する。		
進路指導の充実	○主体的な学習を促すための進路指導計画の継続的改善	3年間を見通した進路指導計画について継続的に改善を図り、生徒が主体的に学習する意識を学校全体で醸成する。 生徒の多様な進路希望に対応した、類型別の課外、進路別二次対策講座を充実させる。	・進路希望調査 ・二次対策講座事前調査 ・課外希望調査	
	○進路情報の提供による学習意欲の喚起	難関大学の総合型選抜や学校推薦型選抜入試に対応した指導体制を整える。 大学入試制度改革に関する情報の収集と提供を行い、生徒が納得する進路選択ができるようサポート体制を整える。	・推薦ガイダンス(7月中旬実施)後のアンケート	
	○社会に貢献する高い志・グローバルな視野をもつ人材の育成	社会人講演会や医学部・難関大学進学講座の一層の充実を図り、高い志をもつ大切さを喚起する。 高大連携事業、外部講座及びインターンシップへの参加を促し、グローバルな視野をもつ人材の育成を図る。	・事後アンケート(社会人講演会/医学部難関大学進学講座 等)	
	○思考力・判断力・表現力や主体的に学ぶ態度の育成	一般公募の小論文コンクール等に積極的に出品させる中で、添削指導を充実させて言語活動の充実を図る。 課題研究活動を中心に、社会及び学術的な課題を探究的に解決する態度を身につけさせる。	・総合的な探究の時間(PC)等での活動後のリフレクション(振り返り/適宜、感想等を記録)	
広報活動の充実	○中学生とその保護者への積極的広報の推進	中学校、学習塾への広報活動を充実させると共に、理数科(第4・6学区)の広報を積極的に実施する。 「中学生の体験入学」等の行事を改善・充実させ、地域の方々や小学生に対する広報活動を行う。	・中学生とその保護者へ、体験入学の事後アンケート	
	○効果的な広報活動の展開	学校案内等の資料や動画、ホームページやSNS等、効果的な情報の提供を行い、本校の特色や魅力を発信する。 学校評議員や学校関係者評価委員に対して学校行事への参加を要請し、教育活動に対する意見を求める。		
図書活動の充実	○主体的な読書活動の推進と図書館利用の拡大	図書館オリエンテーションや図書委員会活動・読書週間の充実を推進し、図書館の積極的活用を促す。 読書案内「筑高の100冊」や図書館通信「来ぶらり」を活用し、生徒の主体的な読書活動や積極的な図書館利用を図る。		
	○情操教育の充実	芸術鑑賞を実施し、豊かな感性と想像力・創造力の育成と多様な文化に親しむ態度を育成する。		
	○学校文化の継承	生徒の主体的活動と学校文化や歴史の記録としての校誌「筑紫丘」の計画的作成と創立100周年に向けての内容充実を図る。		
事務室運営		生徒・保護者のニーズに応えるため、より効果的な予算の編成・執行を行う。		
	○経営参加型の事務室業務の推進	各分掌と情報の共有化を図り、教員との緊密な連携によって学校経営目標を実現するための事務処理を行う。		
		生徒・保護者に対して、より分かりやすい内容で的確に情報発信する。		